

古川内閣府特命担当大臣（宇宙政策）
第8回能代宇宙イベント 大臣メッセージ
（能代宇宙広場（秋田県））

内閣府特命担当大臣として宇宙政策を担当しています古川元久です。「第8回能代宇宙イベント」の開催、おめでとうございます。ここにお集まりの皆さんと直接お会いするのを楽しみにしていましたが、残念ながら所用により伺えないことになってしまいましたので、明野宇宙戦略室審議官にこのメッセージを託すことといたしました。

「能代宇宙イベント」は、地域の皆さんのご理解・ご協力の下、今回をもって8回を数え、これまでに全国から2000人もの学生さんがこのイベントに参加し、多くの宇宙・ロケット関係者が生まれていると聞いています。

さて、皆さんご存知のとおり、最近の日本の宇宙開発利用は、一昨年の小惑星探査機「はやぶさ」の帰還や、星出宇宙飛行士による国際宇宙ステーションでの長期滞在など、明るい話題が続いています。

先月21日には宇宙ステーション補給機「こうのとり」3号機を搭載したH-IIBロケットの打上げが3機連続で成功し、これらの話題は私たちに自信と希望を与えています。

また、政府においても、宇宙政策を国家戦略として推進していくこととしており、先日、我が国の宇宙政策の司令塔機能や準天頂衛星システムの整備・運用などを担う宇宙戦略室を内閣府に設置しました。

私は、宇宙政策においては、夢と実利の両方が、いわば車の両輪のように大事だと考えています。今後、新しい体制の下で、宇宙開発利用における研究開発から実用化、産業化、さらには幅広い利用に至るまでの政策を相互にしっかりと連携させて推進していきます。

今後の宇宙開発利用は、国の予算で政府が行うだけではなく、民間企業の役割もより大きくなり、皆さんが将来活躍する場も広がっていくと考えています。

本日お集まりの皆さんには、是非とも、宇宙への関心や興味を今後とも持ち続けていただき、将来の日本の宇宙開発利用を支える人材に成長していただければと期待しています。

最後に、地域の皆さんを始め、本日のイベントの開催にご尽力された皆様に感謝申し上げるとともに、このイベントが成功することを祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

平成24年8月18日
内閣府特命担当大臣（宇宙政策）
古川 元久